

令和6年度草津市教職員夏期研修講座

全16講座

No.	講 座 名	主な内容	講師	日時	場所	備考
1	人権教育講座① (部活問題学習)	「部活差別の解決をめざして ～生徒アンケートの結果からみえてくること～」 部活差別解消に向けて、草津市として、部活問題学習等様々な積み上げをしているところですが、学習した子どもたちは差別をしない人間に育っているのでしょうか。今なお、差別に苦しむ人たちがいるということを踏まえ、それぞれの発達段階において、どんな教育、あるいはどんな指導が求められているのでしょうか。データや事例に基づくお話により、教育のもつ役割、教職員として、人間としてのあり方を考える時間をいただきます。	全国人権・同和教育研究大会実践報告協力者 原田 朋記さん	7月24日 (水) 13:30 ～ 16:00	教育研究所 研修室	
2	人権教育講座② (多様性・LGBTQ)	「ダイバーシティ教育(SDGs)って何だろう?～性別違和感を感じて～」 ダイバーシティ(多様性)という言葉に耳にする機会が増え、関心も高くなってきましたが、マイノリティの人々に対する偏見や差別、否定的な考えは未だに多くあります。この講座ではLGBTQにスポットを当て、身の回りにおける無意識の偏見に気づき、理解を深めあう機会を持つことができます。すべての子どもたちが排除されることなく、「人権」が守られ、安心して過ごせる教室・学校にするために、私たち大人が「性のあり方」(性の多様性)について考えてみませんか。	レインボークリエイト 代表 定政 輝さん	7月29日 (月) 10:00 ～ 12:00	教育研究所 研修室	
3	生徒指導講座	「危機管理的な視点で事例を見立てる生徒指導 ～事例検討を通して～」 不登校・いじめ対応・学級崩壊の支援・家庭環境・ヤングケアラーetc. 現代の子どもたちを取り巻く様々な事例をもとに、危機管理的な視点で見立て・指導支援・対応していくための方法を演習を通して一緒に考えていただきます。また、普段はなかなか聞くことができない法的な視点からの質問にも答えていただけます。	長野総合法律事務所 弁護士 草津市学校問題 サポートチーム アドバイザー 峯本 耕治さん	7月24日 (水) 9:30 ～ 12:00	教育研究所 研修室	教頭研修会と兼ねています。 生徒指導担当の方は3か4のいずれかに御参加ください。
4	生徒指導・教育相談講座(他機関連携) 【子ども家庭・若者課共催】	「大人が変われば子どもが変わる～子どもの気持ちを理解する～」 学校・地域・行政との連携方法について 子どもたちの抱える悩みは、育ってきた家庭環境や身近な方との関係、地域環境などから影響を受け多種多様となっており、また、同じ境遇であっても抱える悩みは違うことから、一人ひとりに適した支援が求められています。このことから、必要とされる支援の処方箋として、日頃から大阪府下で子ども・若者を精力的に支援している経験とこども家庭庁参与としての活動をもとにお話ししていきます。	こども家庭庁参与 辻 由起子さん	7月25日 (木) 13:30 ～ 16:00	キラリエ草津 6F大会議室	生徒指導担当の方は3か4のどちらかに御参加ください。 教育相談担当の方は4か5か6のいずれかに御参加ください。
5	教育相談講座① (不登校支援)	「不登校児童生徒とその保護者の思いに寄り添って」 複雑化多様化した社会の変化に伴い、世の中は経済・体験格差の拡大や家庭の不安などに満ちています。本市においても不登校の数は年々増加しており、みなさんの学校(園)にも心配な子たちがいます。そんな子どもたちは一体どんなことを考えているのでしょうか?将来を見据えた指導をしていくにあたり、傷つきやすい子どもたちにどのようにかかわればよいのか、その保護者とともにどのように向き合えばよいのか、考えるヒントとなるお話をさせていただきます。	オープンスペース祐の風 代表 藤原 祐子さん	7月26日 (金) 9:30 ～ 11:30	教育研究所 研修室	教育相談担当の方は4か5か6のいずれかに御参加ください。
6	教育相談講座② (メンタルヘルス)	「メンタルヘルス ～リフレーミングで楽にならませんか～」 今年度も龍谷大学の山口特任教授に来ていただき、大津市社会福祉協議会と組織作りで御尽力された経験をもとに、働きやすい環境やもっと楽になれるコミュニケーション等について教えていただきます。学校のこと、学年のこと、学級のこと、一人で背負い過ぎていませんか。ちょっと見方を変え、みんなで支える職場集団のあり方について一緒に考えてみませんか。	龍谷大学特任教授 山口 浩次さん	7月31日 (水) 13:30 ～ 15:30	教育研究所 研修室	教育相談担当の方は4か5か6のいずれかに御参加ください。
7	特別支援教育講座	「養護学校で出会った子どもたちとのかわりを通して」 傷つきやすい子、すぐに拗ねてしまう子、集団になじめない子、特異な行動をする子…。教室にいる特別に支援を要する子たちの特徴にいち早く気づき、寄り添い、応援することはすべての子どもの安心につながります。養護学校に勤めておられたグレードアップSV古日山先生のこれまで出会われた子どもたちとのかわりについての話を聞きながら、目の前の子どもたちにどのように接していけばよいのか、一緒に考えてみませんか。子どもたちの卒業後や成人した姿を見通して、学齢期に関わる上で大切にしたいことを交えて教えていただきます。	グレードアップ連絡会SV 古日山 守栄さん	7月31日 (水) 9:30 ～ 11:30	教育研究所 研修室	特別支援教育部会の方は各校1名以上御参加ください。
8	ウェルビーイングな学校づくり講座	「ウェルビーイングな学校づくり」 子どもたちの貧困や児童虐待、ヤングケアラー問題、教職員の離職や病気休暇等、人手不足の中、学校では教職員も子どもたちも頑張っています。教職員の働き方改革はもちろん必要ですが、他者の動きだけにゆだねるのではなく、現場からウェルビーイングに向かい、ポジティブな発想と行動をしていくことを目指した実践を紹介していただきます。草津市では、第4期草津市教育振興基本計画にも「ウェルビーイングな学校づくり」が示されることとなっています。	埼玉県上尾市立 上平小学校 校長 中島 晴美さん	7月29日 (月) 13:30 ～ 16:00	教育研究所 研修室	
9	学力向上講座① (国語科教育)	「これからの国語授業について～主体的な学びを支える「ロングレンジ」の学習活動～」 変化の激しい未来を生きる子どもたちにとって、人と人とのつながりを創るツールとなる言葉を扱う国語教育の重要性は論じるまでもありません。国語教育の基礎となる「話す」「聞く」「書く」力を使い、主体的にコミュニケーションをとっていくとする子どもを育成するために、どのような学びが今問われているのでしょうか。国語科における「個別最適な学び」「協働的な学び」の授業実践等、様々な事例を紹介しながら、子どもが主体的に学ぶ国語授業のあり方について解説いただきます。	京都女子大学教授 水戸部 修治さん	7月25日 (木) 9:30 ～ 11:00	教育研究所 研修室	

No.	講 座 名	主な内容	講師	日時	場所	備考
10	学力向上講座② (英語教育)	「英語授業のつくり方」～子どもたちと一緒に楽しむ学習活動を考える～ 令和5年度に小学校の教科用図書採択が実施され、令和6年度は中学校の採択が予定されています。また、新しいICT機器やアプリ、デジタル教科書等の活用など、英語教育を取り巻く環境は変化し続けています。新しい教材やソフト等を活用した授業改善を含めて、改めて授業づくりのポイントについて、赤沢先生からわかりやすく教えていただきます。また、後半には草津市小学校英語専科指導教員より、実践報告をしていただきます。	佛教大学准教授 赤沢 真世さん	8月1日 (木) 13:30 ～ 16:30	教育研究 所 研修室	英語教育推進委員の方は御参加ください。
11	草津教員塾 学力向上講座③ (表現・図画工作 科・美術科)	「図工美術ワークショップ ～かんじる・ふれる・やってみる～」 草津市では、令和6年10月に全国造形教育研究大会(滋賀大会)が、令和7年8月に滋賀県美術教育研究大会(草津大会)が行われます。まさに、子どもたちの豊かな感性と表現力を育む図工美術の活動に、私たち教員も夢中になって取り組む絶好の機会です。当日は、身近な素材や珍しい素材などを使った4つのワークショップを中心に、表現・図工・美術と親しむ楽しい時間を過ごしていただきます。ぜひ、「かんじる・ふれる・やってみる」を体感してみてください。	滋賀県美術教育研究大会 令和7年度 草津大会実行委員会 ワークショップ部会	8月1日 (木) 9:30 ～ 12:00	笠縫東小 学校 図工室等	持ち物・服装については別途御案内します。
12	スクールESD講座	「持続可能な社会を創る子どもを育てるESD～具体的な取り組みの紹介を通して～」 将来の予測が困難な時代に、これからの社会の担い手となる子どもたちに今どんな力をつけておくべきなのか。社会に参画していく行動力を身に付けるために、どんな学習が必要なのか。子どもたちが地域に根差し、協働的かつ、主体的に学びを進める学びのサイクルを意識した取り組みについて、数々の実践事例を交えながら、お話いただきます。	東近江市立八日市南小学 校 校長 北崎 裕章さん	7月30日 (火) 14:00 ～ 16:30	教育研究 所 研修室	
13	ICT教育講座①	「生成AIの利活用について」 近年、生成AIの教育現場での利用のあり方について、活発な議論が行われています。最新の生成AIの機能と現職教員・教員養成系大学院生の生成AIの利用意向調査を通して、生成AI利用意向、教育現場で利用する可能性と留意点、求められる教育内容等、考察されたことについてお話しいたします。	鳴門教育大学 教員養成DX推進機構長 特命教授 藤村 裕一さん (中央教育審議会初等中等 教育分科会デジタル学習基 盤特別委員会委員)	7月22日 (月) 15:10 ～ 16:45	キラリエ 草津 6F大会 議室	
14	ICT教育講座②	「①『協働学習ソフト』・②『AI型デジタルドリル』を利用した授業づくり(初級・中級)」 ①(前半:9:00～10:45) シンキングツールや共有ノート等の実技研修により、協働的な学びをコーディネートできるスキルを身に付けます。ロイロ認定インベーターより、丁寧に指導いただきます。 ②(後半:10:55～11:55) AI型デジタルドリルについて、目的に応じた課題発信や個人・学級の学習ログの活用方法を習得します。ラインズ(株)担当より、デジタルドリルソフト体験を通して学びます。	【協働学習ソフト研修】 株式会社Loilo 上原浩平さん ロイロ認定インベーター 徳千代太一さん 【デジタルドリル研修】 ラインズ株式会社 文教グループ大阪支店 小林由乃さん	7月30日 (火) 9:00 ～ 12:00	教育研究 所 研修室	必ずご自分の指導者用コンピュータ(お持ちでなければ校務用コンピュータ)をお持ちください。
15	こどもまんなか社会(学校)づくり 講座 (幼保小接続) (子どもの権利条約)	「こどもまんなか社会の実現に向けて～草津市の取り組みを踏まえて～」 児童虐待の相談対応件数や不登校、いわゆるネットいじめの件数が過去最多となる等、子どもを取り巻く状況は深刻になっており、様々な課題が取り上げられています。次代の社会を担う全ての子どもが、将来にわたって幸福な生活を送ることができる社会の実現を目指して、子ども政策の総合的な推進が求められています。その中でも、幼児教育・保育、学校教育において、大切なことは何か、幼保小接続について等、草津市の取り組みを踏まえた上でお話いただきます。また、こども家庭庁の立ち上げに携わった経験や福岡県での地方教育行政に携わった経験から、子どもの権利条約や生徒指導提要の改訂等についても言及いただきます。	文化庁政策課専門官 (前・こども家庭庁保育政策 課課長補佐、元・福岡県 教育委員会義務教育課長) 塚田 淳さん	7月26日 (金) 14:00 ～ 16:00	キラリエ 草津 6F大会 議室	教育会共催
16	研究発表大会① 第1部 奨励論文・研究 論文発表会	①「伝える」から「伝わる」へ保育の可視化をめざして～見える・わかる・つながるための取組を通して～ ②地域とつながり、持続可能な社会の実現に向けて、主体的に行動できる子どもの育成 ～子どもの学びがにつながるカリキュラムの構築～ ③学びの共同体実現に向けた指導法提案～複数の意図的な不正解から、不正解の理由を思考する～ ④研究報告(令和4・5年度教育研究所研究員より) 「スタディ・ログ」を生かして自ら学びを調整する子を育てる算数授業～『個別最適な学び』と『協働的な学び』という観点から学習活動を工夫して～	①老上こども園 TEAM OIKAMI 松浦 奈津樹さん ②常盤小学校 常盤小学校ESD 中村 匡子さん ③新堂中学校 佐竹 二三也さん ④志津小学校 杉本 久美香さん	8月2日 (金) 13:00 ～ 14:30	教育研究 所 研修室	令和6年度研究奨励事業応募者の方は御参加ください。(研究奨励事業応募者の中間研修会を兼ねています。)
	研究発表大会② 第2部 教育講演会 人権教育	日程・講演内容 14:45～14:50 開会行事 14:50～16:40 講演 「子どもの多様性に気づく」 ＜講演概要＞ 多様性の理解が必要といわれている今日ですが、本当に意識したい多様性とは、子ども一人ひとりに宿る「やりたい!」という意志に寄り添うことですが、これを現場で実現するのは中々難しいのはなぜなのでしょう?今回は、ワークショップとグループコーチングを通して、子どもたちの意志が尊重される環境とは一体どんなものなのか、そんな環境を作るために私たちは何ができるのか、一緒に考えてみましょう。	講師 イシキSmoothy 代表 寺岡 佑記さん	8月2日 (金) 14:45 ～ 16:45	教育研究 所 研修室	第1部と入れ替え制で行います。駐車場が混雑しますので、安全に気をつけて研究所へお入りください。

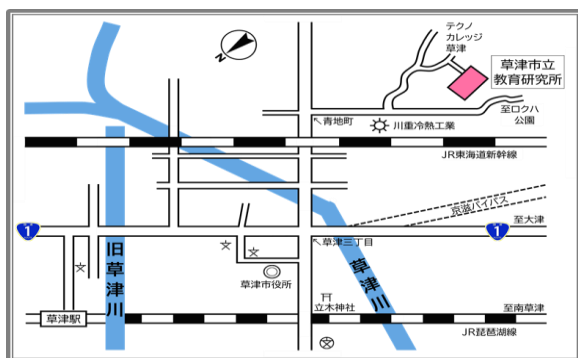
★連絡・注意事項

No.	講座名	準備物・注意事項等	場所
13	ICT教育講座① 7月22日(月) PM	滋賀県教育会研究大会草津・栗東大会の記念講演と兼ねております。14時55分までは研究発表の部が行われておりますので、それまでは受付でお待ちください。	キラリエ草津 6階大会議室
4	生徒指導・教育相談講座 7月25日(木) PM	子ども家庭・若者課共催の研修です。市民活動団体や中間支援組織の方々も参加されます。	キラリエ草津 6階大会議室
15	こどもまんなか社会(学校)づくり講座 7月26日(金) PM	就学前施設の方も参加されます。	キラリエ草津 6階大会議室
11	草津教員塾 学力向上講座③ 8月1日(木) AM	活動が中心の講座となります。持ち物について、当日の服装等について、別途ご案内いたします。	笠縫東小学校 図工室等

申込書 提出期限:令和6年7月4日(木)

会場の定員には限りがありますので、申し込みが多数あった講座については、オンラインによる受講とさせていただきます場合がございます。

○研究所付近の地図



※自動車で来られる際は、教育研究所の駐車場をご利用ください。

※駐車台数が限られています。必ず【乗合わせ】でお越しください。(各校3台まで)

※駐車場が混み合いますので、時間に余裕を持ってお越しください。

※駐車場では、誘導者の指示に従ってください。

※欠席、遅刻、早退については、所属長を通じて欠席届、遅刻届、早退届を研究所へ提出してください。

※今年度はデータ資料としています。教職員はTeams>教材共有ポータルサイト>教育研究所>ファイル>R6夏期研修講座内格納の資料をダウンロードし、指導者用コンピュータ(お持ちでなければ校務用コンピュータ)を御持参ください。PCがない方についての資料は当所で用意いたします。

※様式については、¥public ¥情報提供【教育研究所】 ¥夏期研修講座¥R6の中にあるデータファイルをご利用ください。



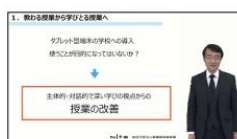
独立行政法人教員員支援機構

NITS 校内研修シリーズ

検索

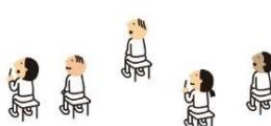
全国の学校教育関係職員に豊富で質の高い研修機会を提供するため、校外、校内、自己研修を問わず、いつでもどこにいても研修が可能となるよう、「校内研修シリーズ」を始め、講義動画などの研修教材を提供しています。「校内研修シリーズ」では、これまでに、本編 130 本、新学習指導要領編 82 本の計 212 本を配信しています。また、令和3年度より新たに立ち上げた「実践力向上シリーズ」では、学校教育関係職員が主に自己学習のために活用することを想定し、授業等で実践できる力を身に付けるための内容を、事例等を交えながら提示しています。

実践力向上シリーズ



動画と関連資料の画面例 (関連資料はダウンロードして活用することができます)

実践力向上シリーズでは、「ICT活用」、「探究的な学習」、「プログラミング教育」、「ファシリテーション」など、教育現場に求められている実践的な内容の動画を制作しています。



<新着動画（令和3・4年度制作分）>

No1	授業における ICT 活用～ICT を活用した授業改善～	No9	オンライン学習の授業の進め方
No2	授業における ICT 活用～校内研修の改善～	No10	1 人 1 台端末の活用場面について
No3	プログラミング教育の具体的実践#1～私たちの生活とプログラミングの関係～	No11	1 人 1 台端末を活用した主体的な学びについて
No4	プログラミング教育の具体的実践#2～実際のプログラミングを通してプログラミング的思考～	No12	ファシリテーション総論
No5	プログラミング教育の具体的実践#3～授業実践事例にみるプログラミング教育の要点～	No13	ファシリテーション各論Ⅰ～会議・話し合いに活用するファシリテーション～
No6	プログラミング教育の具体的実践#4～実践からみるプログラミング教育の可能性～	No14	ファシリテーション各論Ⅱ～授業に活用するファシリテーション～
No7	「実践力向上シリーズ」のねらいと期待	No15	ファシリテーション各論Ⅲ～学校経営に活用するファシリテーション～
No8	「探究的な学習の過程」の方法論		

校内研修シリーズ

<新着動画（令和3・4年度制作分）>

No93	幼児教育の質の向上の重要性	No112	これからのへき地・複式・小規模校教育（下）
No94	「令和の日本型学校教育」の構築を目指して	No113	人権教育
No95	自殺予防	No114	生活安全
No96	不登校児童生徒の理解と保護者への支援	No115	学校における医療的ケアについて
No97	学校のビジョンと戦略	No116	学校安全（総論）
No98	特別な支援を要する児童・生徒に対する道徳教育～特別支援学校における指導の在り方：理論編～	No117	学校における男女共同参画の推進～無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）に気づき、変革につなげるために～
No99	特別な支援を要する児童・生徒に対する道徳教育～特別支援学校における指導の在り方：実践編～	No118	子供を性犯罪・性暴力の加害者・被害者・傍観者にならないための「生命（いのち）の安全教育」について
No100	ハンセン病問題学習	No119	特別支援教育総論 学習のユニバーサルデザイン・段階的対応・合理的配慮
No101	学校の内外環境の分析と特色づくり	No120	カリキュラム・マネジメント
No102	学校ビジョンの理解と共有	No121	不登校児童生徒の対応について
No103	教職員が育つ学校づくり～校内 OJT の考え方と進め方～	No122	特異な才能のある児童生徒に対する指導・支援Ⅰ「特異な才能」の理解と捉え方
No104	1 人 1 台端末の活用による情報活用能力の育成	No123	特異な才能のある児童生徒に対する指導・支援Ⅱ 才能が輝く個別最適な学びと協働的な学び
No105	スクール・コンプライアンス（著作権）	No124	子どもを救い、チーム学校を形成するスクリーニング（理論編）
No106	ESD（持続可能な開発のための教育）	No125	学級・学年・学校支援につながるスクリーニング（実践編）
No107	主権者教育の推進①～現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力の育成～	No126	総合的な学習の時間とカリキュラム・マネジメント
No108	主権者教育の推進②～指導上の政治的中立の確保等の留意点～	No127	よりよい授業づくりのための「新しい」教科書の使い方ー小学校編ー
No109	キャリア・パスポート	No128	学校全体で取り組む食育の進め方～学級活動（2）で進める食育の授業づくりを中心に～
No110	幼保小の接続について	No129	生徒指導Ⅰ『生徒指導提要』の改訂をふまえたこれからの生徒指導の方向性
No111	これからのへき地・複式・小規模校教育（上）	No130	生徒指導Ⅱ 学校・教職員に求められる生徒指導の進め方

校内研修で活用する例

研修の冒頭で視聴し、それをふまえた演習を行う流れが可能です。

20分



40分



「オンライン講座、使っています」利用者の声より

初任研で使った。
自分自身に合う
テーマや内容を
選びやすい。

専門的な研修を
手軽にできるから
いいのでは？

具体的な対応例が
わかりやすかった。

コンパクトに
まとめられているのがよい。
そのまま校内研修で
活用できる。

日々の授業実践に
役立てることができた。

独立行政法人教職員支援機構 <http://www.nits.go.jp>

<つくば本部> 〒305-0802 茨城県つくば市立原3番地 029-879-6613